

森 り よ う じ

森
が
動
く。



流山市議会議員

討議資料

この会報は皆様のご協力（折り・配布）によりお届けすることができています。もう一人重要なパートナーである印刷機ですが、遂に壊れてしまいました。「皆様にリアルな政治を届けたい！」とのもと13年前に購入。二人三脚で頑張ってくれた印刷機のカウンターは335万枚を数えていました。

平成29年10・11月号 森りようじリポート。(87号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

■地域を守る！～消防団の現場より～

『自らの地域は自ら守る！』消防団組織。昨年同世代の仲間5名と入団しました。活動は春・秋等の火災予防運動をはじめ、毎年9月には日頃の練習成果を競う実戦消防操法大会が開催されます。今年(9/24)は昨年に引き続き選手(3番員)として出場しました。大会前は週3日の夜



間練習があり、時には厳しくも、楽しい雰囲気で活動しているのが実態です。結果として今大会では所属する13分団(中野久木・北・富士見台を管轄)は15年ぶりに6位入賞を果たし、団員間の士気が高まりそうです。

当市の消防団定数は355名ですが、約40名の不足状態です。私達は一緒に活動する仲間を募集しています！

■子ども達の“笑顔”を取り戻せ！※裏面で特集

学校に通う児童・生徒から「悲鳴」が聞こえています。何故か…？実は近年『登下校時の荷物が重すぎる』との声が増えているのです。実際に「息子が腰を痛めた」「学校に行くのが辛そう…」といった相談を受けています。

■年内の活動予定。

10・11月は各種出張(全国都市問題会議、議長会研修会や市民経済委員会の行政視察)・市議会報告会(私は11月12日午前担当@流山エルズ)・衆議院総選挙(10月22日)、第4回定例会(11月30日～12月20日予定)があり、日程的な制約を受けながら自身の活動を展開することになります。皆様のご理解をお願い致します。

○1976年6月12日流山生まれ(41歳)

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社(管理部ほか)

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選(4,508票)

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選(5,830票)

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

○後援会事務所:流山市中野久木559-2

討議資料

子どもの笑顔を取り戻せ！

【児童生徒の過重荷物問題】※表面より

そこで、ご自身も小学生のお子様を持つ近藤美保議員（流政会／1期目）と協力し、まずは小中学校に通学中のお子様を持つ保護者へのアンケート調査を実施することにしました。お陰様で約50名の皆さま（学校も10校分）からご協力を頂くことができました。

“ゆとり教育”の流れを受けて従前よりも教科書サイズは拡大化している上、一教科につき副教材が1～3冊付帯されています。また、部活動道具、体操着に水筒、



季節によってはプール道具なども加わることが分かりました。その結果、優に10Kgを超える荷物を持って通学している子どももいました。

次に教育委員会にヒアリング。現場の声と違い、「過重荷物問題」への認識は希薄なものでした。そのようなことから議会で「一般質問」をすることにしました。準備に際しては医療機関の専門家の方々にヒアリング、「成長期にある子どもにとっては、前傾姿勢（円背、猫背）が習慣化しやすい。また、左右どちらか一側に偏った持ち方をしていると、最近児童に増えている軽度の脊柱側湾症の一要因になるかもしれない」との助言もありました。前述のように「腰を痛めた…」との意見は荷物に起因するものであったように思われます。

定例会では近藤議員がアンケート結果など用いながら、後田教育長に質問をしたところ、『早急に校長会で問題提起の上、協議し、改善に向けたアクションを検討する』との前向き答弁がありました。置き勉（教材を置いて下校）などは安全上の課題も伴います。学校だけでなく保護者（家庭）の理解と協力も必要不可欠ですので、皆さまのご協力をお願い致します。

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

第3回定例会ダイジェスト

【私が着目した3つのポイント】

第3回定例会（8月31日～10月2日）では議案31件の審査を行いました。その中で私が注目したポイント（過去に質問をしてきた内容に関するものの成果など）3点に着目します！

①旅券（パスポート）発給業務は大好評！

平成29年3月に開始された「流山市での旅券発給業務」は、当初予想を上回る伸びで利用されており、増額の補正予算が計上されました。

当初予想の年間6,600件（松戸利用者含む）に対し、見通しでは11,000件（約1.7倍に！）になりました。また利用者は市内74%、市外26%であり、新たな人の流れが出来つつあります。

②若年層の投票率の実情は？

平成28年度に実施された参議院選挙と千葉県知事選挙の結果に注目しました。何故かと言いますと、平成27年改正の公職選挙法によりこの選挙から「18・19歳」が新たな有権者として加わったからです。※市内の投票結果は以下の通り

【選挙】	投票率（前回比）	18歳	19歳
参議院選挙（H28.7）	56.58%（2.7%増）	59.68%	51.46%
県知事選挙（H29.3）	29.76%（0.64%減）	21.98%	18.54%

今後、教育の場における「主権者教育」の更なる充実強化はもとより、投票機会の充実（学校内での投票など）も併せて考えていくことが求められていると思います。

③ごみ焼却施設は大丈夫？

流山市のごみ焼却施設は建設後14年が経過しています。正常な稼働を目指し定期的な点検作業を行っていますが、近年は年間1億円前後の維持補修費が発生しています。そのため、今議会では廃棄物処理施設の建設基金（当該施設建設だけに使えるための貯金）を改定し、改築や修繕などにも使用できるようにしました。

市議会内では当該施設関連の質問が増えています。皆様が出すごみを処理するための施設ですので、長く使っていくためにも健全な施設管理と併せて、皆様には「ごみの分別や生ごみの水切り」の協力などもお願いしたいと思います。

【連絡先】 TEL&FAX:7155-3236
Mail:ryoji612@peach.ocn.ne.jp